

Giacomo Puccini

ALL JAPAN OPERA CO-PRODUCTION PROJECT 2024

2024年度 全国共同制作オペラ

LA BOHEME

井上道義、最愛にして最後のオペラ！
盟友・森山開次とともに描く、若き芸術家たちの躍動

井上道義 指揮
森山開次 演出・振付・美術・衣裳

ラ・ボエーム

作曲: ジャコモ・プッチーニ / 台本: ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイジ・イリカ

[全4幕 / イタリア語上演 / 日本語・英語字幕付き / 新制作]

Opera in Four Acts - Sung in Italian with Japanese and English Subtitles, New Production

2024年 **10月6日** [日] 14:00開演 (13:15開場)
上演時間: 約2時間50分 (休憩2回含む)
ロームシアター京都 メインホール
Sun. 6 Oct. 2024, 2:00p.m. (Doors Open 1:15p.m.)
Estimated run time: 2 hrs 50 mins including 2 intermissions
ROHM Theatre Kyoto Main Hall

【ご予約・お問合せ】
ロームシアター京都チケットカウンター
075-746-3201 (10:00 ~ 17:00, 年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)
主催: ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

画: 森山開次

芸術の都パリ、ボヘミアンたちの愛と青春——。「冷たい手を」「私の名はミミ」「私が街を歩けば」…ブッチーニの名旋律が全編を彩る傑作《ラ・ボエーム》!

Michiyoshi Inoue, Conductor



井上は、歳をとると本来の自分でなくなるような恐怖感に襲われます。「元氣な、踊るような、名誉欲のない、生きている人より楽譜の中の作曲家と語り合うことを好む、夢想家の指揮者」である道義がどこか彼方へいってしまい、「[巨匠]とおだてられ、爺臭く動きも鈍く、希望は追憶に入れ替わり、ノスタルジーの中に生きる存在」になることを嫌います。指揮者とは水先案内人であり、天才たちが書き残した作品を、現実の荒ぶる水しぶきとどらえ、時空を超え、コンサートホールというノアの箱舟を山の頂に接岸させる役目だと思っています。知性と愛とユーモアを駆使するには体力が必要です。2023年1月、自分の一生の哲学?を表現した「愛の実態は何か」を描くことが出来たのが、自作のオペラ『降福からの道』でした。嬉しいことに、良い結果と高評価を得ています。しかし、現実の近くにいる人でさえ、そこに描いた真実の愛の在り方を理解しない人が居て、絶望を感じることもあります。そんないつまでも青二才な道義の青春時代の憧れだったオペラ『ラ・ボエーム』を、坐骨神経痛や弱った腎臓のことを忘れ、素晴らしい演出家と歌手ともう一度花火を上げることが出来るなんて、こんな嬉しいこと…いえいえ、こんな辛いことはありません。頑張ります。

井上道義 [指揮]

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案。2014年4月病に倒れるが、同年10月に復帰を遂げる。近年では、全国共同制作オペラ『フィガロの結婚〜庭師は見た!〜』『ドン・ジョヴァンニ』、大阪国際フェスティバル『パースタイン:ミサ』、『井上道義:A Way from Surrender ~降福からの道~』等を、いずれも総監督として早い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年NHK交響楽団より「有馬賞」、2023年「第54回サントリー音楽賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。2024年12月に指揮活動の引退を公表している。

2024年末での引退を宣言している指揮者・井上道義が、自身最後となるオペラに選んだのは“最愛のオペラ”と語る《ラ・ボエーム》の新制作。演出には、深い信頼を寄せる舞踊家・演出家の森山開次を指名。幾多のコラボレーションで次々と鮮やかなステージを生み続けてきた名コンビが、日本&海外混成による新進気鋭の歌手陣とともに、創造とイメージーションあふれる新たな舞台を全国7都市から世界へ発信する。芸術を愛する全ての人に贈る、特別な《ラ・ボエーム》が2024年秋、幕を開ける。

Kaiji Moriyama, Stage director, Choreographer, Designer

森山開次 [演出・振付・美術・衣裳]

2005年自ら演出振付出演するソロダンス『KATANA』でニューヨークタイムズ紙に「驚異のダンサー」と評され、2007年ヴェネチア・ビエンナーレ招聘。2013年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨新人賞他三賞受賞。同年文化庁文化交流使。2019年『ドン・ジョヴァンニ』(総監督・指揮:井上道義)でオペラ初演出。2020年新国立劇場パレエント「竜宮」演出振付美術衣裳。2021年東京2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付。能・雅楽など伝統芸能とのコラボレーション、AI/パノとの共演など実験的なプロジェクトに多数取り組む傍ら、映画・広告・テレビなどジャンルを自在に横断し活動。現代のダンスシーンに牽引するアーティストの一人である。

自由に芸術を志す若者達の集い住む屋根裏部屋に、私もしばらく居候させてもらう。若き詩人の甘美な言葉に揺られて、破天荒な画家の絵の具のしぶきとなり、人の理を洞察しては、哲学者と古書の束にうづくまる。そして、陽気な音楽家と共に踊りあかす日々を送るのだ。冬のパリ、貧しさで寒さに身を震わせながらも、暗い屋根裏部屋に灯された小さな愛。真っ赤な花のごとく燃えては、春を迎える前に朽ちる絶望。ブッチーニの至極の音楽にのせて、彼らの歓びと苦悩の日常の風景を鮮明に描く。私は舞踊家として芸術家たちと戯れ、心情を身体から湧き出させたい。井上道義さんの最後で最愛のオペラ『ラ・ボエーム』に、私の芸術の灯火を捧げて取り組む。時を繋いだ芸術の夢を追いかけながら。



あらすじ STORY

第1幕

1830年頃のパリ。どある安アパートの屋根裏部屋を舞台に、4人の芸術家の卵たちが青春を謳歌していた。詩人のロドルフォが部屋にひとりしていると、階下に住むお針子のミミがろうそくの火を借りにやって来て…

第2幕

今夜はクリスマスイブ。にぎわうカフェ・モミュスで、画家マルチェッロどかつて恋人だったムゼッタが再会する。盛り上がった若者たちはムゼッタのパトロンに支払いを押し付けて笑いながら店を去っていった。

第3幕

時が流れ2月、ロドルフォは結核を患っているミミを思い別れようど決意。一方のマルチェッロは浮気の多いムゼッタと口論になる。

第4幕

しばらく時が経ってもミミのことを忘れられずにいるロドルフォ。そこへ衰弱したミミを連れてムゼッタが現れる。ミミは、ロドルフォのもとで最期を迎えたいとやって来たのだった。

(オリジナルの設定に基づく)

キャスト・関連図

いま聴きたい新世代テールの筆頭!

ロドルフォ (詩人) 工藤和真 Rodolfo Kazuma Kudo

ミミ ルザン・マンタシヤン Mimi Ruzan Mantashyan

英国ロイヤルオペラハウスで絶賛のミミ! 初来日

艶やかな強さを秘めるチャームキングな若き歌姫

ムゼッタ 中川郁文 Musetta Ikumi Nakagawa

マルチェッロ (画家) 池内響 Marcello Hibiki Ikeuchi

豊かな声と表現力で聴く者を魅了

ダンサー Dancers

観田留以 Rui Kajita 水島晃太郎 Kotaro Mizushima 南帆乃佳 Honoka Minami 小川莉伯 Riku Ogawa

きょうと+ひょうごプロデュースオペラ合唱団 The Produce Opera Chorus, Kyoto+Hyogo 京都市少年合唱団 Kyoto Junior Chorus 京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra バンダ・ベル・ラ・ボエーム Banda per la bohème

ショナール (音楽家) 高橋洋介 Schounard Yosuke Takahashi

コッリーネ (哲学者) スタニスラフ・ヴォロビョフ Colline Stanislav Vorobyov

アルチンドロ 仲田尋一 Alcindoro Hirohito Nakata

ベノア 晴雅彦 Benoit Masahiko Hare

パルピニョール 谷口耕平 Parpignol Kohei Taniguchi

パトロン

STAFF

合唱指揮: 辻博之 Hiroyuki Tsuji, Chorus master
照明: 足立恒 Hisashi Adachi, Lighting designer
映像: 山田晋平 Shimpei Yamada, Video designer
美術コーディネーター: 中村友美 Tomomi Nakamura, Scenery coordinator
衣裳コーディネーター: 林なつ子、朝野なつ美 Natsuko Hayashi, Natsumi Asano, Costume coordinators
メイクコーディネーター: 石原ももこ Momoko Ishihara, Make-up coordinator
音響: 石丸耕一(東京芸術劇場) Koichi Ishimaru, Sound designer

副指揮: 佐藤正浩、桑原裕介、瀬山智博 Masahiro Sato, Yusuke Kumehara, Tomohiro Seyama, Assistant conductors
コレペティトア: 服部容子 Yoko Hattori, Korrepetitor

演出助手: 奥村啓吾、彌六 Keigo Okumura, Miroku, Assistant directors
振付助手: 美木マサオ Masao Miki, Assistant choreographer

舞台監督: 酒井 健 Takeshi Sakai, Stage manager
プロダクションマネージャー: 關 秀哉 Hideya Seki, Production manager

Giacomo Puccini

LA BOHEME

プッチーニ没後100年

全国共同制作オペラ

全4幕/イタリア語上演/日本語・英語字幕付き
新制作

ラ・ボエーム

指揮—井上道義
演出・振付—森山開次
美術・衣裳

全国共同制作オペラシリーズとは

全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が連携し、単館では成しえない、独創的かつ高いレベルのオペラを新演出で制作するプロジェクト。2009年度から開始し、近年では野田秀樹演出のモーツァルト『フィガロの結婚〜庭師は見た!〜』(2015年度/全国10都市13公演、2020年度/3都市3公演)、森山開次演出の『ドン・ジョヴァンニ』(2018年度/3都市4公演)、野村萬斎演出の『こうもり』(2023年度/3都市3公演)など実績を積んでいる。

全国公演スケジュール

各2:00PM開演

9月21日【土】、23日【月・休】
9月29日【日】
10月6日【日】
10月12日【土】
10月19日【土】
10月26日【土】
11月2日【土】

東京芸術劇場コンサートホール(2公演)
名取市文化会館大ホール
ロームシアター京都メインホール
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
熊本県立劇場演劇ホール
金沢歌劇座
ミュゼ川崎シンフォニーホール

共同制作:

公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、公益財団法人 名取市文化振興財団
ロームシアター京都(公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)、兵庫県立芸術文化センター
公益財団法人 熊本県立劇場、公益財団法人 金沢芸術創造財団
ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
公益財団法人 読売日本交響楽団、公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団
京都市交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、公益財団法人 九州交響楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢(公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団)
公益財団法人 東京交響楽団

全国共同制作オペラ『ラ・ボエーム』特設サイト

<https://la-boheme.2024.jp>



2024年 **10月6日【日】** 開演 14:00 (開場 13:15) **ロームシアター京都 メインホール**
上演時間: 約2時間50分(休憩2回含む)

チケット (全席指定) 一般SS席 13,000円 | S席 11,000円 | A席 8,000円 | B席 6,000円 | C席 4,000円 | D席 3,000円
ユース (25歳以下) S席 5,000円※ | 18歳以下S席 3,000円※ ※枚数限定

一般発売日: 4/21【日】 | 会員先行発売日: 4/14【日】 ※フレンズ会員(オンライン会員)・Club会員(京都コンサートホール・ロームシアター京都共通の会員制度)・京響友の会会員

- ご予約
- ▶ オンラインチケット — <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> 24時間購入可 ※要事前登録(無料)
 - ▶ ロームシアター京都 チケットカウンター — TEL.075-746-3201(窓口・電話とも10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)
 - ▶ 京都コンサートホール チケットカウンター — TEL.075-711-3231(窓口・電話とも10:00~17:00/第1-3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)
 - ▶ チケットぴあ — <https://t.pia.jp/>
 - ▶ ローソンチケット — <https://l-tike.com/>
 - ▶ イープラス — <https://eplus.jp/>

お問合せ ロームシアター京都チケットカウンター
TEL.075-746-3201(10:00~17:00、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)
<https://rohmtheatrekyoto.jp/>

- ご注意
- 未就学児入場不可。
 - 車椅子席をご希望の方、介助者同伴の方は、お問合せ先までご連絡ください。
 - ユース(25歳以下)チケット、18歳以下チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。
 - 演出の都合上、開演後は本来のお席にご案内できない場合がございます。

ロームシアター京都 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL.075-771-6051(代表) 075-746-3201(チケットカウンター) FAX.075-746-3366
※営業・開館時間は状況により変更することがあります。最新情報はお問合せください。



- 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- 市バス32・46系統「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

